

秦野市ごみ減量通信

第 38 号

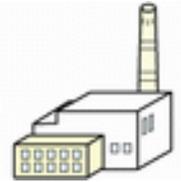
平成29年4月発行

市民の皆さんに、秦野市のごみの現状を知ってもらい、ごみ減量等の大切さを理解していただくため、『秦野市ごみ減量通信』を発行しています。

新たに「秦野市ごみ処理基本計画」を策定しました

秦野市では、平成29年3月に平成29年度から43年度を計画期間とする新たな「秦野市ごみ処理基本計画」を策定しました。今回は、市民の皆様のご協力をいただき、計画の中で早急に取り組むべき課題として位置づけた項目をお知らせします。

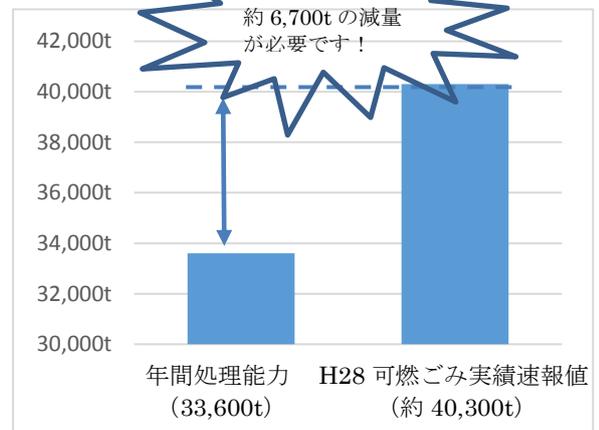
焼却体制を平成37年度末までに はだのクリーンセンター1施設体制に！



現在、秦野市の可燃ごみの焼却は、はだのクリーンセンター（200t/日焼却施設）と伊勢原清掃工場（90t/日焼却施設）の2施設体制で行っています。しかしながら、伊勢原清掃工場は、稼働から30年が経過し老朽化が進んでいることから、計画では、平成37年度末までに、はだのクリーンセンター1施設による処理体制への移行を目指しています。

可燃ごみをどのくらい減らせばいいの？

1年間に、はだのクリーンセンターが処理できる量は、秦野市分で、33,600トンです。これに対し、平成28年度の可燃ごみ実績の速報値は、約40,300トンとなっており、**約6,700トンの削減**が必要です。計画では、この目標を達成するため、次に挙げる3つの施策を重点として、ごみの減量に取り組むこととしています。



その1

草類の資源化

可燃ごみの22.4%※を占めると推計される草類を、今後、分別収集し、資源化することで、焼却量の減量を目指します。

その2

さらなる分別の徹底を！

可燃ごみの中には、資源化している古紙類やプラスチックなどの資源物が、まだまだ含まれている状況です。皆様のより一層の分別のご協力をお願いします。

その3

事業系ごみの削減

近年、増加傾向にある事業系ごみに対し、展開検査による分別の徹底などを強化します。

この他にも、今回の計画では、**家庭ごみの有料化の検討**について位置づけていますので、裏面でご説明します。

家庭ごみの有料化の検討

今回の計画では、平成37年度末までに、はだのクリーンセンター1施設体制での焼却に移行するため、ご紹介した草類の資源化の開始など、さまざまな減量・資源化施策を実施しますが、それでも、**ごみの量が計画の中間目標年度である平成33年度までに計画どおり進まない場合には、ごみ排出量に応じた負担の公平性と排出抑制をより一層推進していく観点から、家庭ごみの有料化の導入に向けた検討を進めることとしています。**

はだのクリーンセンター1施設体制への移行のため、
市民の皆様のさらなるごみの減量、分別の徹底をお願いします！

簡単、
エコで
臭わない！

キエーロのモニターを募集します！

市内里山団体の特定非営利活動法人四十八瀬川自然村とボランティアの皆さんから、秦野産間伐材で作成したキエーロが寄付されました。

このキエーロを、希望する市民の皆様に譲渡し、モニター調査を実施します！



◆そもそもキエーロってどんなもの？

キエーロは土に住むバクテリアの働きで生ごみを分解する木箱で、中に黒土を入れて使います。葉山町の松本さんご夫妻が開発し、臭いや虫の発生が少なく手間がかからないことから全国的に注目されています。

◆どうやって使うの？



- ① キエーロに黒土を入れ、日当たり風通しのよい場所に置きます。
- ② キエーロの土に深さ20cm位の穴を掘ります。
- ③ 穴に生ごみを埋めてかき混ぜます。
- ④ 乾いた土をかぶせ分解を待ちます。
- ⑤ ②とは別のところに穴を掘ってまた生ごみを埋めます。
- ⑥ 夏場は5日、冬場は2週間ほどで分解されます。

※生ごみを分解した土は栄養価が高いため、肥料として使うことも出来ます。肥料として使った場合は、その分の黒土を追加してください。

◆モニター調査に応募したい！

●応募期間：平成29年5月1日～5月31日

●応募方法：郵便、電話、FAX、Eメールで受け付けます。

応募の際はお名前、ご住所、お電話番号を記入またはお伝え下さい。

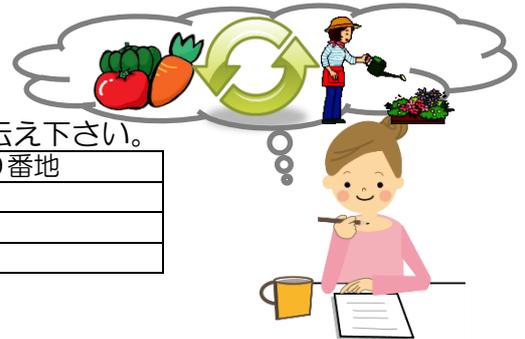
あて先	住所	〒257-0024 秦野市名古屋409番地
	電話番号	0463-82-4401
	FAX	0463-84-6744
	Eメール	k-sigen@city.hadano.kanagawa.jp

●応募要件：

- ① キエーロの維持管理が出来る方（破損時の修理や処分も含む）
- ② モニター調査への協力が出来る方（モニター期間1年間で、数回のアンケート調査を予定しています）
- ③ キエーロを運び出せる方（大きさは約95cm×50cm×85cm、重さ約35kg）

※ 基数に限りがあるため、応募が多い場合は抽選となります（6月1日以降当選者に通知します）。

※ 詳しくは市HP「環境資源対策課からのお知らせ」をご覧ください。



携帯電話や小型家電がメダルに生まれ変わります

秦野市は、東京2020オリンピック・パラリンピックの金・銀・銅メダルを、全国各地で集めた携帯電話や小型家電から抽出したリサイクル金属でつくる「都市鉱山からつくる！みんなのメダル」プロジェクトに協賛しています。

市内公共施設の小型家電回収ボックスに入れるだけで

あなたの不要な携帯電話や小型家電がメダルに生まれ変わります。ぜひ御協力ください。

